



# 読み聞かせ隊が行くIV



10月20日の青聾祭「おはなし広場」で皆さんと交流することができました。



園児らと手遊び歌を楽しむ青森聾、青森南高、青森中央高の生徒たち

読み聞かせ表現豊かに  
青森聾学校文化祭で「おはなし広場」  
青森聾学校図書委員会  
青森南高校JRC部 青森中央高校読み聞かせ隊の生徒17人が20日、青森聾学校



皆さん、こんにちは！



うきばちがあったので・・・



ふとんが飛んでくるので、キャッチしてくださいね！



ふとんがふつとんだ♪  
上に吹っ飛んだ♪

の文化祭で、絵本や紙芝居などを楽しんでもらう「おはなし広場」を開いた。3年生徒が力を合わせ、手話や身ぶり手ぶりを交えた表現豊かな発表を繰り広げ、多くの認定こども園や学校の園児や大人たちを楽しませた。

3校合同で発表するのは昨年に続き2度目。2学期に入ってから3度顔を合わせ、絵本の手話表現を考え、たほか、動きの練習などを重ねてきた。

紙芝居「コロコロゴロン」では、「ストーリーを話す聾学校の横で、南高生が布団で、ごっこする様子」を上演。園児から「もう一回」の声も飛んだ。3年生徒が全員前に並んで行った手遊び歌「ふとんがふつとんだ」では、園児も立ち上がって手と体を動かしていた。

昨年にも参加した青森中央3年の木村心さんは「絵本の読み手と手話が合った。青森聾高等部3年の小田切彩佳さんは「学校の人数が少ないので、他校との関わりは大切な機会。子どもにも大人にも喜んでもらえることもうれしい。楽しかった」と笑顔を見せた。（熊谷慎吉）



みんな、楽しかったですか？  
ありがとうございました！



緊張がとけた瞬間！私たちが楽しかったです。  
聾学校の皆さん、南高校の皆さん、また一緒にやりましょう！